



健康寿命日本一を目指す

主担当部局：健康福祉部



おでかけ健康フェスタ

目指す姿

県民が住み慣れた地域で安心して健やかに暮らしながら、要介護となる人や若くして亡くなる人を減らし、健康寿命の延長が図られる健康長寿県を目指します。



●平成34年度までに、県民の健康寿命(65歳平均自立期間)を男女とも

日本一

にします。

(平成25年 男性:13位、女性:41位)

●平成29年度までに、がん死亡率を

70.0

に減らします。

(75歳未満、年齢調整死亡率、人口10万人当たり人) (平成23年:80.0)

●平成34年度までに65~74歳の要介護認定者の割合を

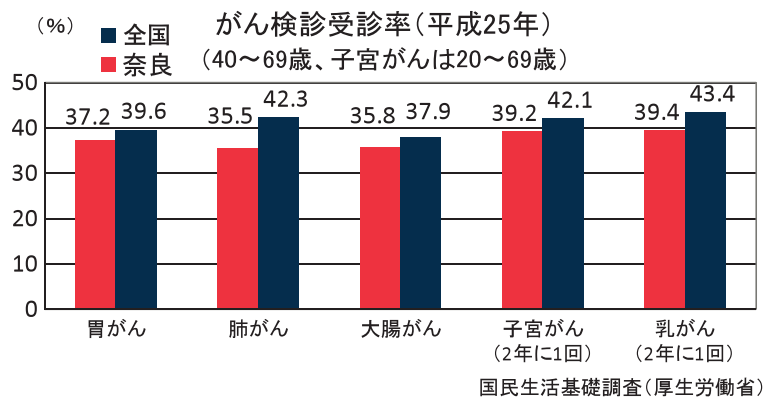
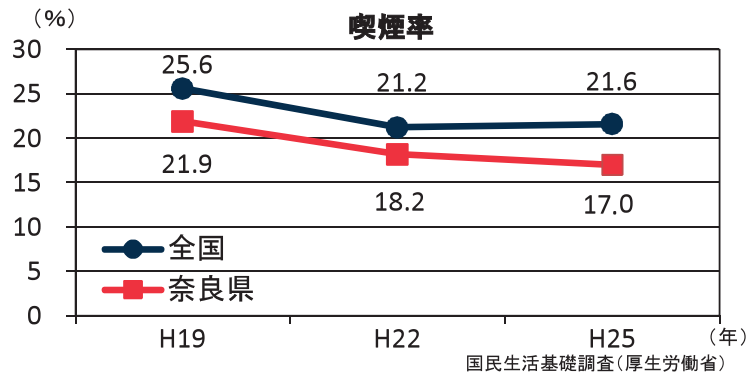
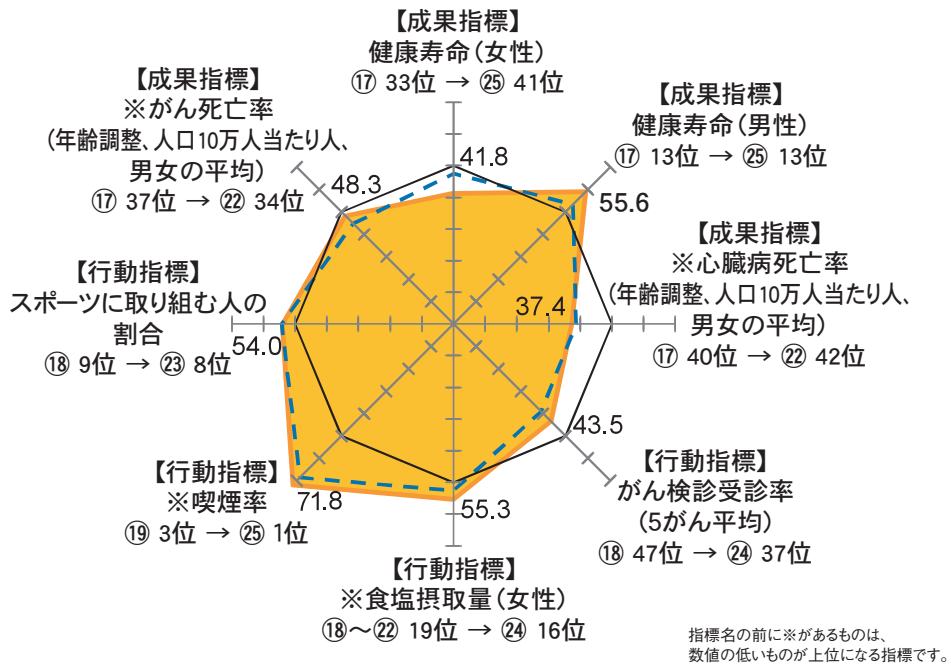
減らし

ます。

(平成24年度末:4.02%)

分析

■ 主な指標



- 喫煙率は、減少傾向にあり、全国一低くなっています。
- がん検診受診率は、5つのがんについて、全て全国に比べて低くなっています。
- スポーツに取り組む人の割合は、全国に比べて高い水準で推移しています。

戦略1

健康寿命日本一を達成するため、健康的な生活習慣の普及を進めます。

主担当課：健康福祉部 健康づくり推進課

戦略目標

- ▶ 平成34年度までに、成人県民の喫煙率を**9.9%に減らします。**
(平成23年度：14.2%)
- ▶ 平成34年度までに、**食塩摂取量を8gに減らします。**
(平成23年 男性：11.6g、女性：10.1g)
- ▶ 平成34年度までに、**運動習慣者の割合を45.0%以上にします。**
(平成23年度：35.0%)

取り組み

たばこ対策の推進

減塩対策の推進

運動普及の推進

健康寿命の延長に関係する健康指標の市町村別把握と評価の実施



インターネット禁煙マラソンのPRカード



奈良県健康ステーション（王寺）

工程表

項目	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
たばこ対策の推進				
◎未成年者禁煙支援相談窓口の設置	県保健所4カ所設置 (奈良市別途設置)	相談窓口継続、協力医療機関の拡大		
◎受動喫煙防止対策の推進		公共的な空間の禁煙化の実態把握、対策の推進		
◎喫煙者に対する禁煙支援	禁煙支援リーフレットの開発	インターネット禁煙マラソンの無料提供		市町村へのリーフレット配布、リーフレットを活用した禁煙支援
減塩対策の推進				
◎高血圧者を対象にした減塩教室の推進	「減塩研修プログラム」の開発	市町村への「減塩研修プログラム」の普及、減塩教室の推進		
運動普及の推進				
◎健康ステーションの設置促進	橿原市内に設置(1カ所目) 王寺町内に設置(2カ所目)	市町村での設置促進のための支援 橿原・王寺ステーションの 充実実施		運営方式の見直しを図り実施
◎おでかけ健康フェスタの開催		事業内容等の見直しを図りながら実施		
健康寿命の延長に関係する健康指標の市町村別把握と評価の実施				
◎健康寿命の延長に関係する健康指標の把握		なら健康長寿基礎調査の実施、国及び県関係統計データの分析		中間評価のための調査
◎健康寿命の延長に関係する健康指標の評価		なら健康長寿文化づくり推進会議の開催、専門家等による戦略的政策提言		
◎健康寿命の延長に関係する健康指標の市町村別把握		状況把握・作成・公表		

戦略2

特定健診受診や介護予防などに取り組む人を増やし、要介護状態になる人を減らします。

主担当課：健康福祉部 健康づくり推進課

戦略目標

- ▶平成29年度までに、**特定健診受診率（国保）及び特定保健指導利用率（国保）を60%以上にします。**（平成23年度（国保） 健診：25.1%、保健指導：14.2%）
- ▶平成34年度までに、**20歳以上で歯科医師による定期的なチェック（1年に1回）を受けている人の割合を男女とも50%以上にします。**（平成23年度 20歳以上男性：33.0%、20歳以上女性：39.6%）

取り組み

特定健診受診及び特定保健指導利用の推進

介護予防の推進

歯科口腔保健の推進

県・後期高齢者医療広域連合の共同実施による高齢者の健康づくりの推進



ごせん 誤嚥にナラン！体操のリーフレット



なら歯と口腔の健康づくりフェスティバル

工程表

項目	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
特定健診受診及び特定保健指導利用の推進				
◎市町村職員に対する研修会の開催		研修会の開催		
◎健康・医療情報を活用した保健事業の実施計画（データヘルス計画）の策定支援		市町村向け研修会、ヒアリングの実施 全市町村データヘルス計画を策定		事業展開
介護予防の推進				
◎スマホ等を活用した健康づくりの検討と実施	実態調査及び導入可能性検討	システム化検討	システム構築	運用準備・開始
◎市町村の介護予防に対する支援		介護予防実務者研修会、事例検討会の開催		
◎高齢者スポーツ文化交流大会（愛称「ならシニア元気フェスタ」）の開催		「ならシニア元気フェスタ」の開催		
歯科口腔保健の推進				
◎歯科口腔保健に係る知識普及と意識啓発		「歯と口腔の健康づくり推進週間」などの機会に実施		
◎市町村における取り組みの推進		管轄保健所による技術的支援		特定健診で発見された糖尿病患者等に対する歯科口腔保健指導等の実施
県・後期高齢者医療広域連合の共同実施による高齢者の健康づくりの推進				
◎市町村と連携し、口腔ケアや運動・栄養に関する指導・普及啓発及び健康づくりの取り組み研究の実施		取り組み方策研究		地域巡回指導・普及啓発

戦略3

疾病の早期発見や医療体制の充実等により、65歳未満の死亡率(早世)を減らします。
 主担当課：健康福祉部 健康づくり推進課

戦略目標

- ▶平成29年度までに、**がん検診受診率50%**を目指します。
 (平成25年奈良県：胃がん37.2% 肺がん35.5% 大腸がん35.8% 子宮がん39.2% 乳がん39.4% ※子宮がんは20～69歳、その他のがんは40～69歳 ※子宮、乳は過去2年の受診率)
- ▶平成34年度までに、**65歳未満の死亡率を男性193人、女性103人(人口10万人当たり人)以下に減らします。**
 (平成25年：男性208.5人、女性104.4人(人口10万人当たり人))

取り組み

行政、保険者、企業等の連携によるがん検診の推進

がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病、精神疾患の医療対策の推進

自殺予防啓発の推進と市町村相談機関等の人材育成



「がん検診を受けよう！」奈良県民会議総会



「がん検診を受けよう！」街頭啓発

工程表

項目	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
行政、保険者、企業等の連携によるがん検診の推進				
◎「がん検診を受けよう！」奈良県民会議の活動促進	活動促進			
◎がん予防推進員の養成	4団体(各保健所で実施)	3団体(各保健所で実施)	市町村で展開	
◎がん検診受診率向上対策の推進	4市町(県でモデル実施)	9市町(モデル事業拡大)	効果のあった対策を市町村に普及	
がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病、精神疾患の医療対策の推進				
◎専門的医療を提供する体制の強化	協働、推進			
◎糖尿病診療に関する専門医とかかりつけ医(非専門医)との連携	検討、協働、推進			
◎がん、脳卒中、急性心筋梗塞等における役割分担、連携ネットワークの推進	地域連携バス運用			
自殺予防啓発の推進と市町村相談機関等の人材育成				
◎ゲートキーパーの養成と相談支援体制の充実	指導者研修	市町村等での実践		

これまでの成果

平成26年9月1日に**健康ステーション**を王寺町内に**新たに設置**しました。**橿原ステーション**とあわせて**利用者延べ40,000人を突破**しました。

平成26年11月9日に「**おでかけ健康フェスタ**」をまほろば健康パークで**開催**しました。(参加者:2,699人)

平成26年10月10日に「**がん検診を受けよう!**」奈良県民会議総会を**開催**しました。(参加者:会員160人、一般190人)

がん予防推進員を県内4か所で**約100人養成**しました。

市町村と協働して、**がん検診受診率向上対策**を**実施**(天理市、川西町、王寺町、五條市)して**受診者数が増加**しました。

たばこ対策市町村モデル事業で**禁煙勧奨リーフレット**を900冊**作成**しました。

市町村が実施する**減塩プログラム**及び子育て世代を対象とした**減塩普及ツール**を**開発**しました。

主な指標の動き

■よくなっている指標

健康寿命(男性)

16.79年 (平成17年 全国13位)  **17.67年** (平成25年 全国13位)

全国順位は横ばいですが、男性の健康寿命は延長しています。

健康寿命(女性)

20.03年 (平成17年 全国33位)  **20.26年** (平成25年 全国41位)

全国順位は下がりましたが、女性の健康寿命は延長しています。

※**がん死亡率**
(年齢調整、人口10万人当たり人、男女の平均)

152.3 (平成17年 全国37位)  **138.7** (平成22年 全国34位)

がん死亡率は減っており、全国順位も上昇しました。

※**心臓病死亡率**
(年齢調整、人口10万人当たり人、男女の平均)

72.0 (平成17年 全国40位)  **65.0** (平成22年 全国42位)

心臓病死亡率は減っていますが、全国順位は低位置にあります。

指標名の前に※があるものは、数値の低いものが上位になる指標です。